

# ひらりにゅーす

## 第2回地域通貨フォーラム開催

### 今後は課題解決の議論こそが必要

「地域通貨フォーラムin大阪」実行委員会が主催の「第2回地域通貨フォーラムin大阪」が昨年12月11日(月)に大阪市中央区の社会福祉会館で開催されました。

第1部の基調講演では(財)さわやか福祉財団の鶴山芳子さんから「地域通貨の現状と課題」というテーマで「時間通貨」の解説とそのケーススタディの紹介がありました。そして今後の課題として①地域通貨は流通することが目的化している

が、何のために地域通貨をやるのかという理念の再確認が必要であること、②誰にでもわかりやすくして楽しい理解を広げていくこと、の2点が提起されました。

第2部では、地域通貨「げんき」と「いっぽ」の取り組みについて、それぞれ(特活)地域通貨ねやがわの理事長・三和清明さんと(特活)友一友の代表理事・小林房子さんが報告。三和さんからは、昨年3月に「前払証票法」の特区(解説参照)

地域通貨事務局  
〒573-0042  
枚方市村野西町5-1  
サブリー村野2F



が認可されたことによる効果として「「げん

き」の使用期限に拘ることなく、助け合い、お買物などが自由にできるようになり、流通が促進されたこと。個人会員に加えて団体会員が増えて積極的に利用するようになったこと」などの報告がありました。そして今後の課題として①活動会員の意欲喚起のための商店の参加促進②市民への呼びかけ③運営経費の確保など、地域通貨が共通して抱える問題点が指摘されています。

次いで小林さんから同様に特区認可を受けている「いっぽ」について「最大の喜びは友一友組織がパワーアップしたことです。それは

### 解説

▼この特区とは、「地域通貨」を発行する場合に前払式証券の規制等に関する法律の事前登録要件のうち、①資本要件(資本又は出資の額)が一億円(使用範囲が一市町村に限定されている時は、一千万円)以上、②かつ資産の合計額から負債の合計額を控除した額が資本または出資の額の100分の90以上、を課さないとするものです。▼寝屋川市や吹田市の事例によるとは、「地域通貨」を進めようとする自治体は、まちづくりの推進や地域福祉の充実などを目的としたボランティア活動等を通じ、地域経済の活性化および地域住民相互の交流の促進が見込まれたため、平成19年4月から全国展開される予定です。▼事務局では他の地域通貨の情報も参考にしながら、みなさんと一緒に、よりよい地域通貨「ひらりにゅーす」を目指したいと考えています。今後ともよろしくお願ひします。

ボランティアが「いっぽ」を受け取ることによってその活動が社会に認められたという意識でやりがいを持つようになったことである」ということでした。また、「地域への認知度を高め具体的な助け合いの関係を構築していくこと」が今後の課題とのことです。今回は地域通貨の問題点や課題が浮き彫りになったフォーラムでしたが、もはや課題の分析に留まらず有効な具体策や解決策を議論する時期に来ているといえます。

# 通訳案内士が講師の「ひらり中国語の会」

## 授業のお礼は感謝の「ひらり」

毎月1回、牧野生涯学習市民センターで「ひらり中国語の会」が開かれ、講師へのお礼に感謝の気持ちを含めた「ひらり」が使われています。その講師を務めるのが楠葉在住の原田真次さん。商社マンの彼はパソコン指導のボランティア経験もあり、人のために何かをしたいというので「ひらり」の会員に登録をしました。毎月1週間ほど中国に出張する忙しい合間を縫って、この中国語講座を開いてくれました。



「通訳案内士」の有資格者。そのホームページによると「通訳案内士は、報酬を受けて、外国人に付き添い、外国語を用いて、旅行に関する案内をする」ことができる資格で、その修得には国家試験に合格しなければなりません。語学に堪能だけではなく「日本地理、日本歴史、産業、経済、政治及び文化に関する一般常識」にも精通しているということ

「通訳案内士」の有資格者。そのホームページによると「通訳案内士は、報酬を受けて、外国人に付き添い、外国語を用いて、旅行に関する案内をする」ことができる資格で、その修得には国家試験に合格しなければなりません。語学に堪能だけではなく「日本地理、日本歴史、産業、経済、政治及び文化に関する一般常識」にも精通しているということ



## サービス提供がサービス受け手に掃除当番札をツールペイントで

ちよつと珍しいサービスをご紹介します。牧野在住のAさんは、かつて保母さんをしていました。が、今はそ

れを辞めて「ひらり」の会員として障害児の送迎に協力してもらっています。しかし、Aさんにとってサービスの提供をすることはあっても、自らがそれを受けるようなものはありませんでした。しかし、ある時、町内会の「掃除当番札」が味も素つ気もないことに気づき、何とかできないかと考えていたところ、それを聞いた地域

ネーターがツールペイントで作ることを提案しました。そして、長年ツールペイントを学び、自らもいろいろな作品を制作している会員を紹介し、両者の了解を得て「掃除当番札」づくりが始まりました。写真のように、玄関先に掛けると見た目もきれいでおしゃれ。「これならば掃除当番を忘れる

す。授業は中国語の発音が大変難しかったため、その練習を中心に行われていました。中国語には口の形、舌の使い方、唇の動かし方、有気音と無気音の使い分け、声調（抑揚の変化）など日本人にはうまくできない発音がいっぱいあり、しかも、それらの違いを聞き分けなければなりません。発音を繰り返し練習して、英語の発音記号にあたる「ピンイン」を徹底的に覚えることにより漢字が読めるようになり、その結果、自然に言葉（単語）が増え、いくと原田さんは話しています。だからこそ、複雑で微妙に異なる発音ができるまで丁寧に指導することに重点をおいています。その様子は、あたかもネイティブの先生のように、不思議に中国人が話しているように見えてきます。ここにはテレビ講座や多人数の講座にはないマンツーマンの良さがあり、そして発音に自信が持てる授業を受けることができず。現在の受講者は5名。まだ人数に余裕があるそうです。中国語に興味関心をお持ちでしたら実践的な「ひらり中国語の会」がお勧めです。

三面へ続く

協賛店訪問(2) 《海鮮餃子北京》

会員も多数が利用する餃子の  
おいしいお店

協賛店訪問第2回目は、ジューシーでまろやかな味いっぱいのお餃子で評判の宮之阪商店街「海鮮餃子 北京」。

創業は昭和52年(1977年)、現在の店長・木野田剛さんは2代目で、18年前にこのお店



餃子づくりをする木野田店長

に入り、以後、餃子の味を追求し続けてきました。この餃子は、キャベツとニラが80%、豚肉が20%というように野菜中心のヘルシー餃子、中でもキャベツに対するこだわりには驚かされま

した。というの店長の一日はキャベツの葉をかじって味を確かめることから始まるのです。同じ箱のキャベツでもひとつひとつの味が違うとのこと、その中から甘みのあるおいしいキャベツだけを選びすぐって食材にしています。「初めは、どのキャベツも同じ味がしていたが、今は微妙な違いがわかるようになった」とこだわり派の店

長が話してくれました。冬場は信州産の減農薬キャベツが餃子に適しているそうです。さらに材料を皮に包んだらすぐにお客さんに出さず、材料のおいしさを引き出すためにわざわざ12時間冷蔵庫で寝かせてジューシーでふわっとした餃子に仕上げています。このように手の込んだ手順を経ているからこそ、多くのお客さんの満足と支持を得ているわけが理解できました。もちろん、木野田店長のこだわりは、餃子だけ

でなくお店のメニュー全般に及んでいることはいまでもありません。「ひらり」を使うお客さんは若い人も含めて多数来店しているとのこと。彼は「ひらり」の「ボランテイアをした」などいろいろな裏書の内容を読むと、ひじょうに嬉しくなるそうです。「ひらり」のよき理解者であり支持者です。京阪電車宮之阪駅からイズミヤの方に向かって徒歩2分ほどのところにお店があり、営

業時間は午前11時30分から午後11時まで、定休日は原則火曜日です。会員の皆さん、「ひらり」での飲食大歓迎の「海鮮餃子 北京」を利用してみたいかがですか。

「ひらり」は、4つの商店街(宮之阪、牧野駅前、牧野本町、長尾台)の入口に写真のステッカーが掲出されている小売店で買物ができま

す。ただし裏書のあ

協賛店訪問(2) 《海鮮餃子北京》

「ひらり」は、4つの商店街(宮之阪、牧野駅前、牧野本町、長尾台)の入口に写真のステッカーが掲出されている小売店で買物ができま



す。ただし裏書のあ

二面からの続き

「ひらり」は、4つの商店街(宮之阪、牧野駅前、牧野本町、長尾台)の入口に写真のステッカーが掲出されている小売店で買物ができま

す。ただし裏書のあ

す。ただし裏書のあ

す。ただし裏書のあ

# 地域通貨「ひらり」とは...

「ひらり」はちよつとしたお手伝い(サービ)をしてもらった時に「ありがとう」の気持ち込めて相手に差し上げる地域限定の通貨です。

「ひらり」の会員になると、ちよつと何かをしてもらいたいことや、逆に誰かに何かをしてあげたいことがある、事務局がそれぞれ

の依頼をコーディネートします。ちよつとしたお手伝いで「ありがとう」と言ってもらえたら、それはとても素敵なことだと思います。

あなたの手元に届いた「ひらり」をどう使うか、それはあなた次第です。「ひらり」と一緒にお渡しするサービスメニューからあなた

が頼みたいサービを探して下さい。そして、自分にも何かできることがないかを考えてみて下さい。

## ひらり会員募集中

地域の人たちとのつながりを広げたいとお考えならば、地域通貨「ひらり」をご活用下さい。「ひらり」の使用には会員登録が必要で

って地域における人と人とのつながりが広がり、そして、地域活動やボランティア活動が活発化していくことを地域通貨「ひらり」は願っています。

す。あなたの「できること」と「やってほし

いこと」を申込み用紙に記入して会費一口100円を添えて申し込んで下さい。ひらり3枚をお渡しします。入会は「地域通貨事務局」(サブリ村野2F)または枚方市役所市民活動課(別館3F)で受け付けています。

掲載記事を募集 「ひらりにゆーす」では、イベントやサークルの参加者募集、団体の活動情報、お店のPRなどの記事を募集しています。掲載料は「ひらり」でOK。掲載スペースと料金は応相談です。広告も募集しています。

## お願い

現在、事務局では左記のお手伝いをしてくれる人を探しています。「私でもできそう」と思ったら、ぜひ、ご協力をお願いします。

★送迎 知的障害のある小学校1年生の男児を自

宅から小学校まで  
場所：中宮 ◆日時：毎週金曜日の朝夕  
★送迎 小学校1年生の女兒をバス停から児童会まで ◆場所：御殿山  
◆日時：火曜日の昼過ぎ  
★音楽療法 リズムに合わせて手遊びなど音楽療法の

★草引き 無農薬畑の草引き作業 ◆場所：徳谷 ◆日時：随時  
★庭掃除 80歳代の女性から庭の落ち葉などの掃除依頼 ◆場所：香里園  
◆日時：随時

手伝い ◆場所：サブ

## 桜の会「桜」の開催

特定非営利活動法人「おおさか音楽療法桜」(代表・戎屋仁美)ひらり会員が、「桜ふれ愛コンサート2007」を開催します。同法人は、音楽を通して歌声や演奏が新しい出会いを生み、障害のある人達とない人達が「ともに生きる社会」を目指すことを活動の目標にしています。

現在、老人施設や障害者への音楽療法などを中心に幅広い活動を

続けています。開催日時、場所は次の通りです。  
◆日時：2月25日(日)午後1時〜3時30分  
◆場所：交野市保健福祉総合センター(ゆうゆうセンター)  
◆協力金：前売500円、当日700円

◆問い合わせ：「おおさか音楽療法 桜」事務局 電話072(859)5537



発行：ひらかた地域通貨「ひらり」の会  
〒573-0042 枚方市村野西町5-1 サブリ村野2F  
TEL&FAX 072-840-2072  
E-mail: chikituuka573@yahoo.co.jp  
URL: http://hirari.seesaa.net